

第3回 地層液流動化診断士研修会の御案内

NPO 日本地質汚染審査機構

会員 各位

NPO 日本地質汚染審査機構事務局

☎ 043-213-8507 Fax.043-213-8508

日本地質汚染審査機構ベースン・センター

☎0478-59-1491Fax. 0478-59-1491

早春の候、地質汚染診断士の各位のおかれましてもご健勝のことと存じます。

さて、この度急遽、以下のような内容で地層液流動化診断士研修会を実施いたします。但し、この研修会を受講し試験に合格した地質汚染診断士のみが地層液流動化診断士になれることを改めてお知らせしておきます。各自多忙と存じますが、今、国土の環境保全、減災にとって地層液流動化診断士の存在は欠かせないものになっていますので、なるべくこの研修の機会を逃さないでください。

この地層液流動化診断研修では、地質コア採取現場・地質コアはぎ取り・コア記載・液流動化判定の記載も必修科目となります。

この度、その現場見学が潮来市のご厚意により可能となりました。しかし、現場の制約条件がある見学会・講義・実習ですので、地層液流動化診断士の資格取得者の受講はご遠慮下さい。

プログラム

1：現場見学・作業見学

- 1-1 3月の現場見学複数指定日：作業現場（茨城県潮来市「日の出」）、稼働時間は随時、NPO 日本地質汚染審査機構のホームページでお知らせいたします。見学機会は複数日ありますので、全希望者は現場見学が可能と思います。

遠方の方にも、現場がJR潮来駅からも高速バス潮来バス停（東京八重洲口（東京建物前バス停）発一潮来着）からも比較的近く、現場まで徒歩で20分から30分です。

成田国際空港からはJP潮来駅着便が便利です。

ボーリング地点は4点ですので、追ってその日の地点をHPでお知らせいたします。

作業現場の日時は随時、NPO 日本地質汚染審査機構のホームページでお知らせいたします。（現場稼働時間中は、全行程の見学が可能です。写真撮影は可能ですが、但し現場作業員への質問は、作業障害になりますのでなるべく避けてください）。

- 1-2 3月の地質コアはぎ取り・判定記載見学複数指定日：作業現場の日時は随時、NPO 日本地質汚染審査機構のホームページでお知らせいたします。（現場稼働時間中は、全行程の見学が可能です。写真撮影は可能ですが、但し現場作業員への質問は、作業障害になりますのでご遠慮ください）。

見学会場は NPO 日本地質汚染審査機構ベースン・センター。高速バス（大栄まわり）潮来行き（東京八重洲口（東京建物前バス停）発→大栄着）。高速バスの乗車時刻を NPO 日本地質汚染審査機構ベースン・センターの☎0478-59-1491 にお知らせください。大栄バス停に、随時着次第送迎します。

作業現場の日時は随時、NPO 日本地質汚染審査機構のホームページでお知らせいたします（現場稼働時間中は、全行程の見学が可能です。写真撮影は可能ですが、但し現場作業者への質問は、作業障害になりますのでご遠慮下さい）。

2：講義と実習

2-1 （1日目）全受講者が受講できるように日程（時間）を調整いたします（講義場所未定）

講義：Anthropogene Stratigraphy と液流流動化、地波・・・・・・講師 楡井 久

（教材：Episodes（IUGS）等の国際文献、国際シンポ等の国際文献、アーバン・クボタ No. 40）（昼食は準備します）

2-1-1 Anthropogene Stratigraphy と単元調査法の意味

2-1-2 液状化—流動化

2-1-3 噴礫現象と研究史

2-1-3 地波現象と研究史

2-2 （2日目）全受講者が受講できるように日程（時間）を調整いたします（NPO 日本地質汚染審査機構 ベーズン・センター）。

実習： はぎ取り実習とコア記載・・・・・・講師：風岡 修

（教材：アーバン・クボタ No. 40、液状化—流動化現象について（千葉県環境研究センター等）（昼食は準備します）

2-2-1 地層のはぎ取り実習

2-2-2 自然地層—人工地層のコア記載

2-2-3 液状化—流動化判定

2-2-4 受講者の総合討論と総合評価

参加会費：30,000円（講義・実習の2日間は昼食付き）（第2回の研修費より激安）となっておりますので、ふるって参加して下さい。

追記

地質汚染診断士以外の方

本研修会は地質汚染診断士のための研修会ですが、今回は地質汚染診断士以外の方も受講可能といたしました。

本研修会を終了し地層液流動化診断士の試験に合格した、診断士補（春、秋の地質汚染技術研修会を終了した方）及び秋の技術研修を終了して5月（春）の技術研修会を受講される方が、6月に行われる地質汚染診断士の試験に合格されると、地層液流動化診断士の資格を得ることができます。

また、将来春、秋の地質汚染技術研修会を受講される予定の方も、地質汚染診断士資格を得られることで地層液流動化診断士になることができます。会員以外の方もふるって研修会に参加して下さい。